

鹿ノ台川柳教室 三月度句会

三月十九日(月) いきいきホール

席題 「仕事」

八木哲子選

定年が欲しいものだと主婦続け

ミノル

恋文を焼いて終活事始め

広子

真面目だけ取りえの私ミシンふむ

春代

3Kといわれる仕事誇りもつ

よう子

定年は仕事納めの旅立や

幸男

抜けぬ癖趣味も仕事のようにする

英二

◎旅行するたびに無職と書く無念

アキラ

◎親業が終った今は孫頼み

哲子

宿題 「意中」(連記)

坪田登美選

ピアスより意中の人の動く数珠

正清

ああ見えても腹の中はいい男

千楽

胸の内見たことも無く掴めへん

幸男

それぞれの思い抱えた自然体

広子

かたくなに秘めて却って当てられる

ミノル

腹心といえども見せぬ胸の内

勝利

知らぬ間に頭の隅に居たあなた

哲子

迷いなし結婚するよこの人と

えいじ

作戦か意中を漏らす憎い人

充

ファン心理とても高価な片思い

乃り子

AIに心の中を覗かれる

英二

忬度の上しい官僚だけ出世

アキラ

目の前で意中の人が友さそう

春代

頼むよと選んだ党がこの始末

よし尚

◎意の中にミサイル隠しする握手

よう子

◎きらいでも笑顔で交わすごあいさつ

登美

宿題 自由吟(共選)

前田幸男選

国会は森友がらみ出口なし

哲子

あさはかな人程高い天狗鼻

登美

悪弊を絶つには辛い過去がある

勝利

友元気言いつつ薬飲む食後

春代

体力を試すがような寒暖差

アキラ

商魂に又踊らされホワイトデー

アキラ

塾ですか公園に子等見あたらぬ

よし尚

チャンスだと今わの際に思い出す

正清

恋文を焼いて断捨離事始め

広子

マージャンにカラオケお風呂老人会

春代

私の春を奪ったスギ花粉

広子

甘言に年甲斐もなく釣り込まれ

充

◎名人芸頭下げずにする謝罪

英二

㊦レントゲン息を止めてと足写す

幸男

宿題 自由吟(共選)

原 広子選

商魂に又踊らされホワイトデー

アキラ

桜咲き過ぎた寒さをチャラにする

乃り子

義理チヨコに迷っているよ何がいい

えいじ

波に捕られ憎い海だが漁に出る

乃り子

シッポ切り出血多量119

英二

レントゲン息を止めてと足写す

幸男

タラの芽に衣をつけて春食す

登美

体力を試すがような寒暖差

アキラ

無人駅となり満員道の駅

千楽

満開の梅が奏でる人模様

哲子

名人芸頭下げずにする謝罪

英二

悪弊を絶つには辛い過去がある

勝利

チャンスだと今わの際に思い出す

正清

この世にはやりたいことがいっぱい

えいじ

㊧今度こそ今度こそはと助走する

よう子

㊨私の春を奪ったスギ花粉

広子

宿題 お題「返す」(互選)

㊩口答えするなと言われなおにらむ

登美

同窓会迷いに迷い欠に丸

英二

返品は受け付けません試食済み

乃り子

返してと言いくいのは貸した側

春代

㊪引き返す勇氣小さく記事となる

ミノル

ローンでも返しきれない罪背負う

よう子

口喧嘩いつも女房倍返し

よし尚

川柳にどんでん返しつきまとう

幸男

ものごとをひっくり返し見るもよい

よし尚

㊫その態度真綿にくるみ返したい

哲子

毒舌に舌打ち返す腹の内

登美

㊬恩返しした気になって恩忘れ

英二

㊭返される笑顔言語の壁を越え

ミノル

返品はお断りよと嫁の母

アキラ

㊮親心仇で返して子は巢立つ

広子

欠席の義雄さんから感想が届いています

(席題) 旅行するたび”アキラさん、一読し、職業を

書くのは旅行の時に限った事では無いと反発を感じ

ましたが、二読三読する内、無職としか書けない身分

だからこそ度々旅行が楽しめる・・・のではと逆説に

思い至り、見る目が変わりました。(無論 アキラさん

の想いとは 関わり有りませんが) (意中)”知ら

ぬ間に”哲子さん、”頭”を”心”に置き換えても、

(返す)”ローンでも”よう子さん、流石、要領よく

上手く纏めて居られます。他では、春代さんの（仕事）”真面目だけ”、ミノルさんの（返す）”返される笑顔”共にいい素材を掴んで居られると思います。近い将来、皆さん夫々が、各紙入選レベルの作品を投句され、楽しく合評会が出来るような教室になればと思います。義雄

鹿ノ台川柳教室 会員の新聞投句 掲載された句

（二月二十一日〜三月十八日各紙掲載分）

朝日新聞 田中新一選

三月八日 題「弱い」

生き残り懸けた鰯が群れを組む

弱点を上手にさらし人気者

奥村 義雄

播本 英二

三月十五日 題「リスク」

この僕に賭けた女房の深い読み

地獄極楽自分で選ぶ求人誌

野々村アキラ

奥村 義雄

毎日新聞 山田順啓選

二月二十二日 題「手紙」

追伸が生んだ誤解の後遺症

思い切り一筆箋にある余白

澤山よう子

前田 幸男

三月一日 題「灯台」

灯台が照らす平和の旗印

灯台になってあげると電気消す

林 勝利

橋 正清

三月十五日 題「カメラ」

願わくば君の心にズームイン

野々村アキラ

読売新聞 阪本高士選

三月十八日 題「贅沢」

百均が贅沢と言う福の神

前田 幸男

奈良新聞 居谷真理子選

二月二十一日 題「くだもの」

八朔でさっぱり消えた今日の憂さ

育てる民の口に入らぬバナナです

てんこもりフルーツパフェの愚痴を聞く

野々村アキラ

五十嵐千楽

橋 正清

二月二十八日 題「箱」

絶対に返事の来ない投書箱

外箱に引かれ買ってはみたけれど

薬箱違う種類が一つ増え

野々村アキラ

澤山よう子

前田 幸男

三月七日 題「真ん中」

住民がどこかエラそう中央区

播本 英二

ストライク投げて勝負をかけてみる

澤山よう子

松竹梅つい見栄を張り竹にする

野々村アキラ

怪気炎吐いて真ん中ずれている

橘 正清

三月十四日 題「勝つ」

応援の声もゴールになだれ込む

澤山よう子

母の背に書いてあったな負けて勝て

野々村アキラ

息子との勝負そろそろ負けようか

播本 英二

監督の指示に逆らい試合勝ち

前田 幸男

祝 奈良新聞 平成二十九年年間優秀作 アキラさん

題「逆らう」 あんな人こんな人いて民主主義

奈良新聞

自由吟

三月八日 藤原一志選

追伸の一語が重い友の文

澤山よう子

夫婦してうつる欠伸の退屈さ

前田 幸男

戒名が土にかえらず星になる

橘 正清

三月十五日 藤原一志選

飾り物全て捨てます一行詩

澤山よう子

欲の砂握力ゼロの逆恨み

橘 正清

腹式でスーと吐き出すストレスも

前田 幸男

*右の通り、句会参加者、新聞各紙の投句でも活躍
橘正清、林勝利、前田幸男 各氏は、短歌、俳句
でも各紙で活躍中*

次回句会 四月十六日、十三時、西集会所

宿題のお題、「首」、「太々しい」、「自由吟」。各二句。

*「首」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

*「自由吟」は選者二人の共選、二部提出のこと。

当日席題あり。十二時三十分「お題」発表、

出句、宿題十三時、席題十三時十五分。

五七五書いて 汗かき恥もかき

川柳で 今日も元気に 惚け防止

春ですな 川柳やってみませんか

*句会のご見学、ご入会、大歓迎

問合せ 五十嵐修(79・0751)、原広子(79・0061)